

家庭ごみ有料化に関する意見交換会を開催しました

家庭ごみ有料化に向けた今後の施策のあり方などについて、市民の皆様と意見交換を行いました。

1 <日程・参加人数>

No.	日 程	場 所	参加人数
1	10月10日(金) 19:00～	水橋ふるさと会館	8人
2	10月11日(土) 10:00～	呉羽会館	4人
3	10月11日(土) 14:00～	まちなか総合ケアセンター	13人
4	10月11日(土) 19:00～	大山会館	19人
5	10月18日(土) 10:00～	細入公民館	16人
6	10月18日(土) 14:00～	山田公民館	6人
7	10月21日(火) 19:00～	大沢野会館	8人
8	10月23日(木) 19:00～	八尾コミュニティセンター	10人
9	10月28日(火) 19:00～	婦中ふれあい館	15人
合 計			99人

2 <当日の様子>



3 <主なご意見（事後アンケートの結果を含む）>

(1) 排出方法について

- ・ 指定ごみ袋に入っていない場合は、回収しないとのことだが、剪定枝はごみ袋に入れることが難しい。無料にしてほしい。
- ・ 現在もごみの排出方法が守られていない。有料化した場合、今まで以上に混乱する恐れがあるので、ごみの分け方・出し方について一層の周知が必要。

(2) 指定ごみ袋について

- ・指定ごみ袋に入っていない場合は、回収しないとのことだが、町内会に負担がかからないよう対応してほしい。
- ・富山地区広域圏指定ごみ袋を有料化の指定袋と誤解している人がいる。
- ・ごみ袋に記名を求める自治体もある。ごみの排出ルールが守られるため、参考とすべき。
- ・金沢市は容量が5リットルのごみ袋を作っている。単身世帯でごみを多く出さない人もいる。容量の小さいごみ袋も必要ではないか。
- ・スーパー等のレジ袋として、会計時に指定ごみ袋を購入することができるようにはどうか。

(3) 家庭ごみ有料化制度について

- ・有料化は、ごみの減量化のために行うとのことだが、ごみ減量の目標値を示すべき。
- ・手数料は、1リットルあたり、1円程度とのことだが、今後、値上がりしていく事が心配。

(4) その他

- ・事業者へ過剰包装を控え、簡易包装を進めるよう働きかけが必要。
- ・ごみをできるだけ出さないよう、リユースの取組みを進めてほしい。
- ・ごみ出しが困難な高齢者への対応が必要。
- ・処理施設の延命化が必要とのことだが、富山地区広域圏の構成市町村にもごみを減量するよう働きかけてほしい。
- ・家庭ごみ有料化と並行して、ごみの減量化を進める取組も必要。
- ・不法投棄防止パトロールを強化してほしい。
- ・剪定枝をチップ化する粉碎機を貸し出してほしい。
- ・生ごみ処理機の補助制度を導入してほしい。
- ・有料化制度を導入する際は、高齢者にも分かりやすい周知が必要。
- ・有料化制度について、きめ細やかな説明や周知が必要。
- ・意見交換会での市民からの意見をQ & A方式で掲載するなど、情報共有し、有料化制度について市民の大多数が納得をした上で実施してほしい。
- ・高齢者のごみ出し支援は、地域住民が主体となり行う方法もある。
- ・ごみ有料化の目的がごみの減量化とのことだが、有料化制度を導入する前にごみ減量化に十分取り組むべきではないか。
- ・リサイクルを推進するため、リサイクル（分別）の区分を多くして、頻繁に回収すべきではないか。
- ・手数料の使途については、環境保全などの有意義なものに使ってほしい。
- ・「家庭ごみと資源物の分け方・出し方」について、事例を増やすなどし、内容を充実してほしい。
- ・ごみの出し方について、アプリやLINE等も活用し、幅広い年代の方へ周知してほしい。